

宇部興産中央病院 広報紙

たんぽぽ

tanpopo

川棚（下関市）の藤と鯉

紫色の垂れ下がる姿がとても美しい藤の花。一輪一輪は蝶のよう。房となって人々を魅了します。古くから振り袖姿の女性に例えられる花。「あでやか」「おしとやか」「上品」な花。花言葉は「優しさ」。藤の花の下で群泳する平和を象徴する錦鯉。ゆったり時間は。

2019年7月

Vol 94号

新棟 4階がいよいよ7月1日から本格全面稼働開始！



急性期疾患の治療施設が充実しました（4F）

救急の受け入れが、今より一層スムーズになります

専門治療のために速やかに専用エレベータで移動できます。

4F HCU 12床・観察室 4床
& 病棟37床(外科・眼科、泌尿器科、皮膚科、眼科診察室)

3F 脳疾患治療センター 12床
脳神経外科病棟 38床

2F 手術室 (5室)

1F 救急センター
消化器内視鏡センター
画像診断室(MRI / CT)



4F HCUセントラルモニタ



4F HCU血液浄化装置



4F HCUベットサイドモニタ



4F スタッフステーション



4F HCU



4F 観察室

チーム医療 特集

医療機器のスペシャリスト 臨床工学技士

一人の患者さんに、複数のメディカルスタッフ（医療専門職）が連携して、治療やケアにあたっています。これがチーム医療です。

宇部興産中央病院では、医師、看護師だけでなく様々な職種のメディカルスタッフが働いています。「臨床工学技士」この職種が医療の安全を支えています。当院では5名が働いています。



写真で見る仕事のひとこま

臨床工学技士って？

臨床工学技士はメディカルスタッフの一職種であり、現在の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストです。

助からない命を助ける医療の要因の一つには医療機器の発展があります。最新の機器が直ちに正確に安全に医師や看護師が使用できるように機器に対する深い知識を習得し、常に機器の保守・点検を行い、使用方法の指導を行うのが国家資格をもつ医療機器のスペシャリスト「臨床工学技士」です。

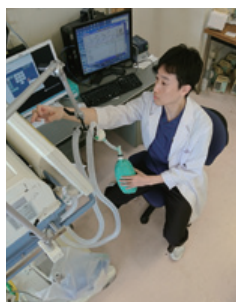
今後益々増加する医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献していきます。



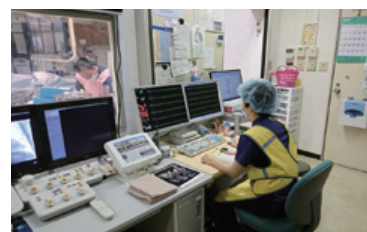
医療機器保守管理

人工呼吸器や輸液ポンプは病院内で日々たくさんの患者さんに使われています。

貸出し、返却、清掃、動作の確認などを担っています。



手術サポート、機器の点検



血管造影検査では機器の取扱いをサポートします。



いつでも手術ができるように常に麻酔器の動作確認など緊張した仕事が続きます。

透析センターでの仕事

血液透析の機械は、一度の治療で3～5時間連続稼働するので、細心の注意を払い事前の点検・整備を行います。

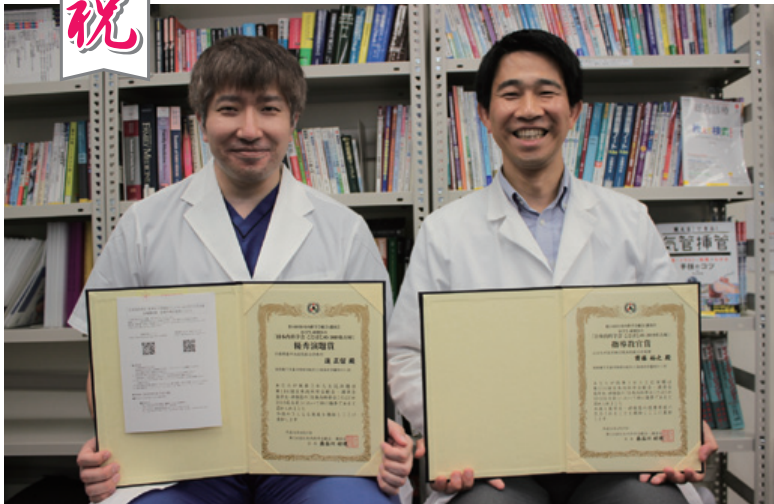


機器の操作方法の指導





受賞おめでとう！



「喜びの進医師(左)と指導教官の齊藤医師(右)」

当院2年目研修医の「進 正留 医師」
医学生・研修医の
「日本内科学会ことはじめ2019名古屋」
優秀演題賞 受賞

演題・・・「ドレナージ後再発予防目的に腹腔鏡下
天蓋切除術を施行した感染性肝嚢胞の1例」

受賞した優秀演題賞とは

日本内科学会の総会という全国の全ての内科が集まる会で、「ことはじめ」という研修医を中心とした若手医師・医学生向けの舞台での発表の場です。

今回は、呼吸器、循環器、感染症など、それぞれの分野に分かれ、総勢466人が発表。6、7人1グループとなり、その中の一人がこの「優秀演題賞」に選ばれます。

全部で80人近くが選ばれる賞ですが、全国の有名研修病院を含む様々な先生が集まる中での受賞でした。宇部興産中央病院の研修医育成指導の成果です。



優秀演題賞を受賞して

進 正留

初めての学会発表で、このような賞を受賞することができてとてもうれしく思っております。指導者の先生をはじめとし、多くの先生にご指導いただき、何度も予演を繰り返し練習してきました。

自分自身発表することに対して苦手意識を持っており、他の人と比べて緊張しやすい性格であると感じております。今回このような結果を得て、苦手意識を克服するきっかけとなり、また努力次第でチャンスは広がるという自信につながり、とてもいい経験となりました。

研修医指導医としての喜び

宇部興産中央病院 総合診療科／研修管理委員会
第116回日本内科学会総会 指導教官賞 受賞

齊藤 裕之

忙しい診療の中で学会発表の準備をするということは大変なことですが、日本内科学会総会という内科系の最も大きな学会で進先生の発表が評価されたことは、指導医としても大変喜ばしく思います。

受賞の背景には、進先生の日常診療に対するたゆまぬ研鑽はもちろんですが、指導医たちの教育・指導体制、患者さんを手厚くサポートして頂いた看護師をはじめとするメディカル・スタッフの皆さんの支えがあった上での受賞であることを改めてお伝えしたいと思います。

今回、進先生が発表された感染性肝のう胞は死亡率が高く、個人的にも悔しい経験をしたことのある疾患です。

しかし、今回は診断から治療までを比較的スムーズに行えたことで救命に繋がられたこと、更には外科との協力体制によって再発予防まで行えたことで患者さんに対してもよい転機を提供することができました。内科学会での受賞は単にアカデミックな活動が評価されただけではなく、宇部興産中央病院での診療が客観的に評価された結果でもあります。これからも日々の診療の研鑽を忘れず、精進を重ねていきたいと思っております。引き続き皆さまからのご指導をお願い致します。

健康コラム

健康上の問題に制限されることなく日常生活を
おくることのできる期間 = 「健康寿命」
健康長寿の秘訣なるものを執筆していただきました



名誉院長
福本 陽平

誰もが願う健康長寿

現在、日本人の平均寿命は伸び続け、2017年には男性が81.1歳、女性が87.3歳で過去最高となりました。これを戦後の1947年と比べると、男性は50.1歳、女性は54.0歳だったので、過去70年間に寿命は男女ともに約30歳以上伸びたこととなります。ところが、最近、書店では「老後破産」や「下流老人」などの本が売れ、我が国の現在の年金制度の下では、長生きすると経済的な破たんを来す恐れのあることが話題となっています。その一方で、企業の定年延長が65あるいは70歳に定着すると、定年後の寿命は70年前とさほど変わらないともいわれており、長い老後をいかにして健康で過ごすかが重要になります。すなわち、「平均寿命」よりも、「日常的に介護を必要としないで、自立した生活が出来る生存期間」である“健康寿命”を延ばす努力をすることにつきますと言えます。ちなみに2015年の日本人の健康寿命の平均値は、男性が71.2歳、女性が74.2歳となっています。

そこで、身体の老化を遅らせるコツについて、東京大学の小林武彦教授は次の5項目を挙げています。1) 病気にならない、2) DNAに傷をつけない、3) ストレスをためない、4) 適度な運動、5) 食べ過ぎない、です。まず、「病気にならない」では、高齢者の死因の上位三疾患が(表)、悪性新生物、心疾患、脳血管障害ですのでこれらをいかに防ぐかです。そのうち悪性新生物では胃がん、肺がん、大

腸癌で半数以上を占めているので、検診などによる早期発見が重要です。また、心疾患、脳血管障害は血管の老化による疾患ですので、動脈硬化への対応と早めの治療が鍵となります。定期的に総合的な健康診断(健診)を受診することもおススメです。

次に細胞内の「DNA損傷」は、紫外線、放射線、タバコ、活性酸素が主な原因ですので、紫外線対策や禁煙をすること、食事によるビタミンC、Eなどの抗酸化物質を積極的に摂取することでしょう。「ストレスをためない」は、定年後に職場を離れると血圧が降下することなど、多くの実例からも明らかです。「適度な運動」は、体の筋肉量(体力)を維持する上でも必要であり、逆に、体を鍛えることも度を越すと悪影響を及ぼします。最後の「食べ過ぎない」は、これも最近の動物実験から、過食が老化を促進し寿命を縮めることは確かなようです。穏やかな老後を送る上で、何かのご参考になれば幸いです。

(表)

年齢と死因

年齢	一位	二位	三位	四位
30歳代	自殺	悪性新生物	心疾患	不慮の事故
40歳代	悪性新生物	自殺	心疾患	脳血管障害
50歳代	悪性新生物	心疾患	脳血管障害	自殺
60歳代	悪性新生物	心疾患	脳血管障害	肺炎
70歳代	悪性新生物	心疾患	脳血管障害	肺炎
80歳代	悪性新生物	心疾患	脳血管障害	肺炎
90歳代	心疾患	肺炎	老衰	脳血管障害

ホット一息 フォトひといき



この景色を眺めながらお食事しませんか



当院8F パノラマレストラン コスモ



コスモ 夏新メニュー
チキン南蛮定食 850円

地域医療連携セミナーについて

今年度はケア・コミュニケーションについて3回に分けて院内外の医療関係者を対象に講座を開催します。

講師は松原淳子さん(元NHK山口放送局 契約キャスター・レポーター)

- 日程 第1回 7月24日(水)「好感度と信頼を高める表現」
第2回 9月12日(木)「相手を受け入れる」
第3回 11月7日(木)「自分も相手も大切にする表現」
いずれも 17時～18時30分

場所 当院 講堂

入場無料、駐車券も差し上げます。
お誘いあわせの上、お越しください。

不整脈の知識を深める 医療公開講座

6月11日宇部市見初校区において当院清水昭彦院長による「忍び寄る怖い不整脈」をテーマに医療講座を開催しました。



コスモコンサート

年内の予定は以下のとおりです。

10月12日は例年どおり、日フィルのアンサブルコンサートも予定しております。

【今後のスケジュール】

- 7月13日(土) 14時 2周年記念 塩見貴子 ピアノコンサート
8月31日(土) 14時 ちよっちゅね～ 三線、唄、ピッコロ、ピアノ
9月28日(土) 14時 ショコラ 女声アンサンブル
10月12日(土) 14時 日フィル ふれあいコンサート(2F) たんぽぽコンサート(8F)
11月2日(土) 14時 安光和代 ソプラノソロ&ピアノ演奏
12月7日(土) 14時 eclat with Cello ヴァイオリン、ピアノ、チェロ

ガーデニング部の活動

秋の花壇コンクールに向け、6月25日に苗植えを行いました。

今回は花壇の土を篩にかけ、肥料も十分に行き届くよう皆で作業しましたので秋にはその成果も出ると期待しております。



【病院理念・方針】

いつでも誰でも安心してかかれる中央病院
常に使命感を持ち協調して行動する中央病院

- 一、医の倫理と良心に従い、より良い医療の提供と医療安全に努めます。
- 一、患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、患者満足度の向上に努めます。
- 一、地域の中核病院として関係する地域医療・福祉機関との連携に努めます。
- 一、経営の健全化と職員満足度の向上に努めます。

発行：地域医療支援病院



医療法人社団
宇部興産中央病院 地域連携室

宇部市大字西岐波750番地 TEL (0836) 51-9421

印刷：重度障害者多数雇用事業所(有)リベルタス興産